

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

|   |   |
|---|---|
| <b>事業所名</b>                                     | グループホームいずみ山荘                                  |
| 日付  | 平成16年12月13日                                   |
| <b>評価機関名</b>                                    | 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会                             |
| 評価調査員   | 老人保健施設での相談援助業務歴 5年<br>居宅介護支援事業所での痴呆性高齢者介護歴 4年 |
| 自主評価結果を見る（事業所の自主評価結果にリンクします）                    |   |
| 評価項目の内容を見る（岡山県の定めた評価項目へリンクします）                  |   |
| 事業者のコメントを見る<br>（評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります！） |   |

#### 外部評価の結果

|  |
|--|
| <b>講評</b>  |
| 全体を通して（特に良いと思われる点など）   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・建物全体がゆったりとしており、また、リビングに畳みの間を設けるなど複数の空間を設けており、ハード面において入居者にとってストレスの少ない生活が可能であると感じられました。</li> <li>・職員の入居者への関わり方は、全体的にゆったりとしており、やわらかい印象は好感が持てました。</li> <li>・併設の特養の機能を上手く生かしながら、ホームへの還元を行っていると思われました。</li> <li>・職員の配置も比較的潤沢で、日中の職員も確保されていました。</li> <li>・テレビや音楽などを漫然と利用せず、メリハリを付けて利用されており工夫が感じられました。</li> <li>・法人全体の努力によるものと思われませんが、利用料が9万円程度で済む点は、新型の特養に比しても低廉であり評価できると思います。</li> <li>・建築的には現代的でシンプルなデザインですが、光と風がふんだんに感じられる建物になっており、入居者にとっても良いように感じられました。</li> <li>・管理者の姿勢が極めて先進的で開明的な発想をもたれている点については、ホームの建設、運営等に大いに影響があるように感じられました。</li> <li>・管理者の雰囲気はやわらかく、利用者にとっては好ましいと感じられました。</li> </ul> |
| 特に改善の余地があると思われる点   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・制服（ポロシャツ・ジャージ）については、管理者も含めて再度検討していただく機会を持たれると良いのではないのでしょうか。</li> <li>・居室の窓が20センチ程度しか開かないことについては、ホームの環境全体の検討と同時に今後の課題として検討されてはいかがでしょうか。</li> <li>・ホーム全体がゆったりしていることもありますが、さらに家庭的な空間作りに努力されるとより良くなるのではないのでしょうか。</li> <li>・食材料を基本的に（週1回はホームにて買い物）併設特養から供給を受けている点に関しては、検討の必要があるのではないのでしょうか。</li> <li>・玄関とリビングが少し一体的であり、玄関からリビング全体が見えすぎる点については検討の必要があるのではないのでしょうか。</li> </ul>  |

#### 運営理念

| 番号   | 項目  | できている | 要改善 |
|------|---|-------|-----|
| 1    | 理念の具体化、実現及び共有   |       |     |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か   |       |     |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループホームの建築に当たっては、東京の設計事務所に設計を依頼し、現代的でありながら落ち着いた空間構成に注意を払って建築されていました。また、建築後も入居者に沿った空間作りのため、様々な日常生活用品を随所に取り入れるなど、努力が感じられました。</li> <li>・グループホームとしては「ゆっくり」をモットーとしており、ホーム全体として「ゆったり」とした空気が感じられました（玄関等の施設はされていない）。</li> <li>・入居者ができるだけ低料金で利用できるように、介護保険上の1割負担部分を含んで9万円程度で利用料を設定していました。</li> <li>・特別養護老人ホームが併設されており、そのメリットを最大限生かす意識も持たれていました。</li> <li>・グループホームを開設するにあたって、従来の特別養護老人ホームのケアをグループホームにできるだけ持ち込みたくないとする考えから、当初の人員配置は特別養護老人ホームからの職員異動を最小限に（2名のみ）にされるなど配慮が見られました。</li> <li>・ターミナルケアについては併設の特別養護老人ホームの存在と切り離しては考えにくいので、今後、実際にそうしたケースが発生したときに、それぞれに対応を検討していきたいとのことでした。</li> </ul> |       |     |

#### 生活空間づくり

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2    | 家庭的な共用空間づくり  |       |     |
| 3    | 入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり  |       |     |
| 4    | 建物の外周や空間の活用  |       |     |
| 5    | 場所間違い等の防止策   |       |     |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か                                       |       |     |
|      | ホームの建物の玄関を含めて各出入り口は施設されておらず、入居者が自由に入出入りしており、できるだけ入居者の行動を束縛しないように努力されていました。 |       |     |

#### ケアサービス

| 番号 | 項目                        | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6  | 介護計画への入居者・家族の意見の反映        |       |     |
| 7  | 個別の記録                     |       |     |
| 8  | 確実な申し送り・情報伝達              |       |     |
| 9  | チームケアのための会議               |       |     |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重               |       |     |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ |       |     |
| 12 | 入居者のベースの尊重                |       |     |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援        |       |     |
| 14 | 一人でできることへの配慮              |       |     |

#### ケアサービス（つづき）

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 15   | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫  |       |     |
| 16   | 食事を楽しむことのできる支援   |       |     |
| 17   | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援  |       |     |
| 18   | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮  |       |     |
| 19   | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援  |       |     |
| 20   | プライドを大切にされた整容の支援   |       |     |
| 21   | 安眠の支援  |       |     |
| 22   | 金銭管理と買い物物の支援   |       |     |
| 23   | 痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保   |       |     |
| 24   | 身体機能の維持  |       |     |
| 25   | トラブルへの対応   |       |     |
| 26   | 口腔内の清潔保持   |       |     |
| 27   | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応   |       |     |
| 28   | 服薬の支援  |       |     |
| 29   | ホームに閉じこもらない生活の支援   |       |     |
| 30   | 家族の訪問支援  |       |     |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か  |       |     |
|      | 排泄時には「声かけ」と、「着替え」等に、特に注意するようにされていました。また、過去の生活歴の聞き取りシートなどもあり、経験や過去の生活を大切にすることを姿勢も感じられました。職員は、入居者一人ひとりの力を見極めるように関わる姿勢を持っており、日常生活の中での役割分担などに生かされている様子でした。 |       |     |

#### 運営体制

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31   | 責任者の協働と職員の意見の反映  |       |     |
| 32   | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ  |       |     |
| 33   | 家族への日常の様子に関する情報提供  |       |     |
| 34   | 地域との連携と交流促進  |       |     |
| 35   | ホーム機能の地域への還元   |       |     |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か  |       |     |
|      | 何か問題がある場合には、全体の職員会議を開催し、話し合いを行い、解決を図るようになっています。また、日中、玄関を含めオープンになっているので、目配りを怠らないようにされていました。 |       |     |